



豊島支部 NEWS

2021年 第69号

<http://meiji-toshima.com>

●二〇二一年総会書面表決結果
二〇二一年総会の書面表決の結果は、左表のとおり、賛成多数で承認とさせていただきますました。書面表決いただいた皆さまに、お礼申し上げます。

投票数 項目	賛成	反対	無回答 転出・ 一任等	回答 総数	賛成投票率(%)	
					回答総数にお ける賛成票	送付 190 通に 対する賛成票
第1号議案:2020年度 事業報告及び収支決算 報告並びに監査報告	84	0	2	86	97.7	44.2
第2号議案:2021年度 事業計画及び予算(案)	84	0	2	86	97.7	44.2
第3号議案:役員改選	84	0	2	86	97.7	44.2

■二〇二一年総会議案への意見
質疑・反対意見はありませんでした。

■通信欄へのコメント

- 三浦前支部長の逝去には、妻とともに心を傷めております。えんがわ市でお会いした時には、また飲みに行きましようとお話して別れました。
- 仲間3人を失い、寂しいです。白砂支部長には、公私ともお世話になり、厚く御礼申し上げます。
- 三浦前支部長の活躍に感謝し、「冥福を祈ります。白砂支部長、ありがとうございます。今後もしっかりお導き下さい！」
- 校友会に誘っていただいたのも三浦先輩でした。その後もなにかしらとお氣にかけていただき、ありがたく思っています。信じられない気持ちですが、「冥福をお祈りします。」
- 白砂正人様、6年間の支部長職「苦労さまでした。今後は、名誉支部長としてますますのご活躍をお願いします。三浦昭生さんの訃報を知り、驚いています。心よりお悔やみ申し上げます。小生は新校友会発足以来の会員ですが、体調が悪く総会等に出席できず残念です。
- 三浦昭生前支部長が他界されたとのこと、残念です。西山廣喜支部長当時は、三浦さん、斉藤直豊島区教育委員長、米倉健司ヨネクラジム会長、岡芹一夫豊島区議会議長などが参加していました。
- 三浦様の逝去の報びびっくりしました。滝沢様も小澤様も私より若いのに……。

あいさつ

明けまして、おめでとーございませう。

二〇二一年豊島区地域支部総会の書面表決において、新役員体制にご賛同いただき、監査委員の後藤孝男さん・小野幸宏さんとともに、新支部長として選任いただきました。また、白砂正人前支部長を名誉支部長として委嘱させていただきました。兼村仁幹事務長の他、26名の役員の皆様を指名させていただきました。コロナ禍の中で、書面表決とさせていただきますことをお願い申し上げます。表決の返信をいただいた皆さまに、お礼申し上げます。

私は、昭和57年に工学部建築学科卒、昭和59年に大学院工学研究科建築学専攻博士前期課程を修了し、平成14年にまちづくりコンサルタントとして独立開業以降、池袋に事務所を構え、平成25年から池袋3丁目に事務所兼自宅を設けました。大学卒業以降、コンサルタントとして全国のまちづくりの支援に取り組んでいきましたが、池袋を終の棲家と定め、地域とのかかわりを持ちたいと、平成27年の東京都北部支部総会に参加した際に、三浦昭生元支部長・白砂正人前支部長に豊島区地域支部役員会への出席をお声掛けいただき、豊島区地域支部の役員を担うことになりました。役員となって最初の仕事は、豊島区地域支部総会・懇親会で

- に……。高齢をグッチってしまいがちですが、独居なので一応自分で何とか日常のことをこなしています。
- 白砂様、永年の支部長お疲れさまでした。三浦さんの急逝寂しくて仕方ありません。
- 滝沢先輩のダンディーなお姿が偲はれます。心より「冥福をお祈り申し上げます。」
- 滝沢先輩は、お仕事を自分が勤めて会社と遠くから関係があったのでいろいろなお話をきかせていただきました。寂しいです。
- 新型コロナウイルス物価高と厳しい年の瀬になりました。この状態は今後も続くと思えます。気を引き締めて頑張りましょう。
- 懇親会が再開できる日を心待ちにしています。三浦さん「冥福をお祈りします。」
- 今後は、校友会の会合・活動に出席したいと思えます。
- 幹事の皆様、いつもありがとーございませう。
- 役員の方、何かと頑張ってください。
- 支部の運営、ご苦労さまです。
- コロナ禍の中、運営お疲れさまです。
- 春には息子も理工学部卒業となります。今後とも宜しくお願いいたします。

●使用済み切手・書き損じハガキ、ベルマーク収集への協力お願い
身近な社会貢献活動として、使用済み切手・書き損じハガキを豊島区民社会福祉協議会へ寄付、ベルマークを豊島区

の写真撮影を担当しました。当時から豊島区地域支部では、老・壮・青年の幅広い年齢層とともに、校友に限定しない多様な地域交流団体としての特徴が表れていたと思えます。



平成27年豊島区地域支部総会・懇親会の集合写真
(校友会での初仕事。私は、写真撮影担当のため、写っていません。)

世の中には、さまざまな地域活動団体が存在していますが、多くの団体では、設立当初の目的・目標を共有しながらも、活動主体の役員・構成員の変化が少なく、活動が弱体化しているなどの課題が指摘される事

教育委員会へ寄付を行っています。毎月開催している役員会で収集とりまとめしています。

校友の皆さんも収集活動にご協力の上、地域支部役員へお届け下さるようお願い申し上げます。

●豊島区地域支部年会費納入のお願い

校友の皆さまには、明治大学校友会豊島区地域支部の事業へのご協力御礼申し上げます。
豊島区地域支部の会報の制作・郵送などの事務費については、会員の皆さまからの年会費により運営しています。
2020年・2021年の年会費の振込手続きは完了済みです。必要なのは、猪瀬宛にご連絡下さい。

●ミレイ会の開催準備

令和2年3月から延期していたミレイ会(60歳以上の校友有志の交流会)の再開へ向けて、幹事の山本守敏さん・増田治美さん・勝浦信男さんが中心となって検討を始めています。改めてのご案内をお待ちください。

●第16回社会貢献活動見本市

第16回社会貢献活動見本市(共催)としてNPO推進協議会・地域活動交流センター(運営協議会:豊島区)が、令和4年2月11日(土)に、IKEBIZ6階多目的ホールでの開催を予定しています。例年、明治大学校友会豊島区地域支部が協賛している事業ですので、是非ともご来場下さい。

例も見受けられます。一方、校友会は、明治大学の存在が、次の世代が創出される数少ない持続的取り組みの可能性を有する地域活動団体と言えるのではないのでしょうか。

豊島区地域支部の活動において、白砂名誉支部長から引き継いだバトンを次世代につなげられるよう、役員・校友の皆様、関係団体の皆様にご協力・ご指導いただきながら、校友・地域から期待され、支持され、校友会活動に参加して楽しいと思っただけの運営するよう努力していきたいと思えます。

支部長 猪瀬典夫



※2022年初春交流会については、中止とさせていただきます。コロナ禍が落ち着きつつありますが、役員会で検討した結果、多くの皆様に安心してご参加いただくためには、もう少ししばらく様子を見る必要があるとの判断になりました。8月の暑気払いを開催し、皆さまとの交流機会の再開を祈念しています。

明治魂を伝える

竹澤 薫
一九九四年度商学部卒

株式会社No.1 取締役
No.1 税理士法人 中小企業診断士
財務コンサルタント
日本営業大学 講師
豊島区倫理法人会 会長



この度は、明治大学校友会豊島区地域支部会報に掲載の機会を頂き、有難うございます。私は、埼玉県岩槻市（現さいたま市）で両親と兄という家庭で育ちました。小さい頃から野球が大好きで、高校生まで活動しておりました。現在は、トライアスロンの試合に向けた自転車・水泳・マラソンの練習により日常的に体を鍛えています。高校時代に雪の中の「早明戦」を視聴し、「キック」を選択せず「前へ！前へ！」とトライを狙う明治

大学に好感を持ち、第一志望に定め、合格を勝ち取ることができました。大学時代は、「将来、海外で仕事をしたい！」という思いから、授業とサークル活動を適度にこなしながら、アルバイトで資金を貯め、長期休み毎に海外を旅していました。具体的には、アメリカ、カナダ、ジャマイカ、インド、ネパール、タイ、ベトナム、カンボジア、シンガポール、マレーシア、中国、台湾などの国で様々な出会い、経験をしました。いよいよ4年生になり、就職戦線に突入し、9大商社のリクルーターや人事部に対し、3年間の行



動と経験を必死に訴えました。残念ながら、ご縁がなから、ご業種にアプローチすることになり電機メーカーの東芝に就職しました。東芝では、海外と縁のない自衛隊向けの誘導機器（ミサイル）の営業部門に配属され、5年間、社会人としてイロハを学ばせて頂きました。

5年間が経過し、年功序列の組織より実力・結果で評価される組織で自分自身を磨きたいと思い、27歳で通信機器商社の光通信に転職しました。年齢・学歴・国籍関係なしの完全実力主義の会社に入り、1年間、必死にしが苦しみました。営業スキルだけでなく財務・投資スキルを習得したことで仕事の幅が広がり、28歳で執行役員という重職を担うというすばらしい経験をさせて頂きました。その後、32歳で独立し、ゴルフツアーナメント事業及びゴルフレッスン事

業を開始しました。多額の資金を借り入れし、大きな設備投資を実行しましたが、リーマンショックと重なり、当初の計画通り事業が進まず、みるみる銀行口座から現金が消えていきました。結果として、事業を譲渡せざるを得ない貴重な経験をし、経営及び財務の本質を学ぶことができました。現在は、今までの様々な経験や失敗を活かし、①OA機器商社の取締役②中小企業の多くの経営者が抱える「経営」「財務」の問題から解放し、安心して未来志向の経営を遂行できるサポート③アスリート引退後の就職・起業のキャリアサポート④知識や知恵だけでなく「実践訓練」による経営者の自己革新を図る経営者団体の運営などを主な業務として活動しております。

私がこのような様々なビジネスに積極果敢にチャレンジできたのは、大学時代に培った「行動力」や「実践力」が基底にあったからだと思います。今年で50歳を迎えましたが、自身の心の成長を図りながら、「前へ！前へ！」の精神で地域社会・顧客・職場・仲間・家族に対する貢献力を高めていきたいと思っています。

● 会社紹介

良好な管理を行うマンションの道しるべとして。

株式会社 東京プランニング

代表取締役 長尾睦子

【略歴】幼稚園から高校までカトリックの教育を受けましたが、仏教徒。明治大学文学部に入学し父の勧めでゴルフ部に入部しました。



25年後体育会ゴルフ部の監督を拝命し日本一に導きました。大学卒業後は三井物産の化学品で勤務、3人の子育中は専業主婦でしたが、第三子の中学入学を機に宅建の免許を取り不動産の仕事で復帰し、その後株式会社東京プランニングの代表取締役となりました。弊社は一九六八年市場調査会社として東京都中央区にて創業。

一九八二年よりマンションの管理組合と居住者の方々に、マンションの資産価値と良好な住環境を守るために必要な建物や設備の維持管理、管理組合の運営方法に関する情報紙として「アメニティ新聞」を発行しています。題字下に「集合住宅管理新聞」と表示しているのは当時マンションという呼称が一般的でなかったからです。マンションを購入するということは、区分所有法では管理組合の一員になり、維持管理の担い手になると定められています。そのことを認識していない人がほとんどです。専門家ではない居住者が交代制で管理組合の理事になることが多いので、どのように維持管理をしたらよいかをわかりやすく伝えていきます。弊紙には無料相談室という寄せられた質問に答えるコーナーがあり、建物に関する事・管理組合の運営の在り方などを弁護士・一級建築士の方々にお願ひして解答しているQ&Aは人気です。

現在のマンションストックは675万戸、都心3区のマンション化率は70%を超えています。

人口減少社会を迎え空き家問題となる今、分譲マンションも同じ問題を抱え、既存住宅の運用は重要な問題です。マンションの永住志向が高まり、ライフステージの違う住民同士の意思疎通の大切さ、居住者の高齢化により増えている次世代へのバトンの渡し方など発刊当初の維持管理の方法だけではなく、違う情報の提供が重きを増してきていると思います。

来年から「管理計画認定制度」が始まり、管理不十分だと思われるマンションには各自治体から助言・指導・勧告が入るようになります。国も管理に本腰を入れますという意思表示だと思えます。色々な情報を必要に応じて発信していきたいと思っています。

紙離れをしている若い世代の方にも見て頂けるように、マンション内の電子回覧板での情報提供などを視野に入れ、電子版の発行やSNSを利用した動画やライブ配信等も始める予定です。

アメニティ新聞が、良好な管理を行うマンションの道しるべとなることを目指して頑張ります。